

公益財団法人東京都歴史文化財団

第1 監査の目的

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項に基づき、都が補助金交付等の財政援助を行っている団体に対して、補助金の算定は適正に行われているか、財政援助に係る事業は目的に沿って適切に執行されているか、監査を実施する。

第2 監査対象の概要

1 監査対象団体及び局

- (1) 監査対象団体 公益財団法人東京都歴史文化財団
- (2) 監査対象局 生活文化局

2 団体の概要

(1) 団体の概要

公益財団法人東京都歴史文化財団（以下「財団」という。）は、東京都における芸術文化の振興並びに都市の歴史及び文化の継承とその発展を図り、もって創造性に満ち、潤いのある地域社会づくりに寄与することを目的とする団体であり、平成7年10月に財団法人東京都文化振興会と財団法人江戸東京歴史財団が統合して設立、平成22年4月から公益財団法人の認可を得た。

財団は、主に次の事業を行っている。

- ア 東京都指定文化財を活用した芸術文化の振興
- イ 江戸及び東京期を中心とした都市の歴史と文化の振興
- ウ 写真及び映像文化の振興
- エ 現代美術を中心とした芸術文化の振興
- オ 美術を中心とした芸術文化の振興と表現活動拠点の提供
- カ 音楽、演劇、歌劇、舞踏等の芸術文化の振興
- キ 若手芸術家の育成、支援及び芸術家と都民との交流の振興

(2) 組織（平成23年3月31日現在）

財団は、事務局を墨田区横網一丁目4番（東京都江戸東京博物館内）に置き、役員11名（理事長1名、理事8名、監事2名）（うち非常勤役員10名）及び職員249名（うち都派遣職員36名）で、事務局2課1室、8施設をもって構成されている。

3 都との関係

(1) 基本財産の出えん

都は、財団の基本財産15億5,149万余円のうち、2億円(12.9%)を出えんしている。

(2) 補助金等の交付

都は、財団の運営に要する経費に関する補助金(以下「運営費補助金」という。)を財団に交付しているほか、東京文化発信プロジェクト事業等にかかる負担金及び地域の文化・芸術活動支援事業に関する助成金の交付を行っている。

(3) 財産の貸付

都は、旧朝香宮邸等(7,098.03㎡)を東京都庭園美術館として無償で貸し付け、東京都江戸東京博物館の建物の一部(429.50㎡)を、財団事務局事務室として、有償で貸し付けている。

(4) 指定管理業務の委託

都は、平成18年4月から、公の施設である東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館、東京都現代美術館、東京都美術館、東京文化会館及び東京芸術劇場における指定管理業務を財団を含む事業者の集合体(以下「コンソーシアム」という。)又は財団に対して委託している。

第3 監査の範囲及び実地監査期間

1 監査の範囲

平成21年度及び平成22年度の事業について実施した。

2 実地監査期間

(1) 生活文化局 平成23年9月7日及び21日

(2) 財 団 平成23年9月8日から同月20日まで

第4 監査の結果

1 補助対象事業等の執行について

団体が行っている補助対象事業等について、総勘定元帳、伝票及び証ひょう等により、補助金等の算定は適正に行われているか、事業は適切に執行されているかについて検証した。

その結果、別項指摘事項を除き、補助金の算定は適正に行われており、事業は財政援助の目的に沿って適切に執行されていると認められる。

2 指摘事項

(1) 団体

ア 債権管理を適正に行うべきもの

東京文化会館において、施設の利用料金に係る債権の管理状況を見たところ、監査日（平成23.9.9）現在、平成22年度分事業者Aに係る附属設備使用料等について、表1のとおり、239万1,442円が滞納となっていることが認められた。

財団は、債権管理に当たっては、各事業者が個別の事情を抱えていることから、弁護士や公認会計士など専門家に相談のうえ、相手先に応じた適切な対応を行っているとし、本債権についても、財団は、これまで債務者に対しては催告等を行うなど、債権管理事務を適正に行ってきたとしている。

しかしながら、財団は、事務担当者に対して、債務者との交渉状況や回収見通しなどを書面により報告させるなど、より慎重な取扱いとすべきであったが、確認したところ、本債権について、財団と債務者との交渉経過が明確でなく、債権が滞納されて以来、約6か月間の交渉記録が確認できない状況となっていた。

また、このような状況となっていることの背景には、財団が、債権管理に当たって、個別に対応方針を決めるばかりではなく、財団全体として債権管理に関するマニュアルを整備していないことが要因となっている。

財団は、滞納となっている個別の債権について、速やかな回収に向けて適切に取り組むとともに、団体として、債権管理全般にわたる基本マニュアルを作成し、債権管理を適正に行われたい。

（公益財団法人東京都歴史文化財団）

（表1）事業者Aに係る東京文化会館使用料債権の状況（監査日（平成23.9.9）現在）

（単位：円）

	使用料	延長使用料	附属設備使用料	計
収入済	11,018,550	—	—	11,018,550
未納入	—	103,512	2,287,930	2,391,442
計	11,018,550	103,512	2,287,930	13,409,992

(2) 共通

ア 運営費補助金について

局は、公益財団法人東京都歴史文化財団自主事業に係る運営費補助金交付要綱（以下「要綱」という。）により、財団が自主事業として行う事務局事業、東京都庭園美術館事業、トーキョーワルナーサイト事業に要する経費のうち公益事業に係る部分について財団の運営に要する経費を補助している。

財団に対して交付する運営費補助金の算定は、差額補助又は定額補助（定額補助の対象：庭園美術館の展覧会に要する経費）により行われている。

本補助金について見たところ、次のような状況が認められた。

(ア) 補助対象を明確に規定すべきもの

財団が行う運営費補助金の申請は、交付要綱に基づいて、表2のとおり、財団が実施する補助対象事業のすべてについて収入及び支出の状況を明らかにしたうえで、その差額（＝支出－（基本財産運用収入＋事業収入＋雑収入＋特定資産取崩収入））を算定することにより行わせる必要がある。

ところで、財団は、表3のとおり、平成21年度において、都民の芸術活動の振興を図ることなどを目的にプロムナードギャラリー事業を実施している。当該事業は、財団の自主事業として行われていること、公益性を持つものであること、他に都からの補助金等の交付はないことから、本補助金の算定に含めて積算すべき事業と考えられるが、要綱を確認しても、当該事業を補助対象とすることについて明確な規定が見当たらなかった。

このため、財団は、当該事業を補助金の算定に含めて積算しておらず、表4のとおり、平成21年度において、本事業の収支黒字308万8,635円が補助金額から控除されずに交付されていることが認められた。

これは、局が、財団の自主事業のうち、補助対象となるものについて、要綱において具体的な補助要件を規定していないことによるものであり、適切でない。

局は、運営費補助金の交付に当たり、要綱に具体的な補助要件を規定されたい。

（生活文化局）

(表2) 要綱に規定する補助の目的及び補助対象事業

(補助目的) 都における芸術文化及び都民の生活の中に芽生える幅広い文化活動の振興並びに東京の自然や伝統を踏まえた国際都市にふさわしい個性的な文化の振興を図り、「生きがい」と「うるおい」のある地域社会づくりに寄与する
(補助対象事業 (抜粋)) ※都から財団に対し、別に補助金を交付する事業を除く。 <財団事務局> <ul style="list-style-type: none">・地域文化の活性化のための文化活動の支援助成・都民の文化的活力の導入による文化事業の企画及び実施・芸術及び伝統文化の振興・文化振興に関する普及啓発・その他目的達成に必要な事業 <庭園美術館 (展覧会経費を除く) > <ul style="list-style-type: none">・庭園の公開・その他目的達成に必要な事業

(表3) プロムナードギャラリー事業の概要

(目的)	地下道、通路等の壁面を利用して、芸術の薫り豊かな空間を創出するとともに、都内に活動拠点をおく美術家又は美術団体に絵画、写真、工芸等の作品展示と発表の機会を提供し、都民の芸術活動の振興と活性化を図る。
(展示場所)	新宿区西新宿1-9 新宿駅西口地下・明治安田生命新宿ビル前
(展示期間)	1団体当たり4週間
(展示実績)	一般展示 13回 (日本画、油彩画、水彩画、水墨画、版画、彫刻など)
(その他)	本事業は、財団の事業実績報告においては、庭園美術館の章に記載されている。

(表4) プロムナードギャラリー事業の収支状況 (平成21年度)

収入	支出	差
4,250,000円	1,161,365円	3,088,635円

(イ) 定額補助金額を妥当な水準とするよう適切な検証を行うべきもの

局は、庭園美術館において実施した展覧会に要する経費を対象に、財団に対する定額補助（補助金額：3,834万3,000円（平成21年度、平成22年度とも））を行っている。

また、財団は、公益財団法人東京都歴史文化財団自主事業に係る運営費補助金交付要綱により、事業年度終了後速やかに実績報告書を局に提出しなければならず、その際に添付する収支内訳は、定額補助対象分とともに補助対象全体の事業について示さなければならないと定められている。

ところで、庭園美術館の定額補助にかかる収支について、財団が局に対して提出した補助金の精算状況を見たところ、表5のとおり、平成21年度の収入及び支出において、実績と申請がかい離しており、収支差額欄に、約2,071万円と記入すべきにもかかわらず、局から交付された定額補助の金額（3,834万3,000円）を記入していた。

しかしながら、報告を受けた局は、上記のとおり、財団からの申請金額が実際の収支金額と異なっていることを認識していたにもかかわらず、財団に対して、正確な金額を報告させるよう指導していなかった。

また、平成22年度の収支差額は、約1,539万円（収入：約1億4,555万円、支出：約1億6,094万円）であり、平成21年度の収支差額（約2,071万円）とともに、定額補助金額（3,834万3,000円）を大きく下回る状況が認められた。

本件の定額補助は、財団が庭園美術館において行う展覧会の実施に当たり、事業の収支実績によらず、定額を補助することにより、財団の自主的な財源確保努力を促すものである。

このため、局としては、財団に交付する補助金が都民から徴収された税金その他の貴重な財源でまかなわれるものであることから、定額補助の金額は、当該事業の収入が支出を恒常的に上回ることはないよう、実態に合った水準とするよう留意する必要がある。

局は、定額補助金額の設定に当たり、財団が適正な事業実績報告を行うよう指導を徹底するとともに、補助額を妥当な水準とするよう、適切な検証を行われたい。

（生活文化局）

（表5）庭園美術館における展覧会事業の定額補助分に係る収支状況（平成21年度）

（単位：円）

	収入	支出	収支差額
実績（a）	134,788,696	155,503,694	△ 20,714,998
申請（b）	136,588,696	174,931,696	△ 38,343,000
差額（b－a）	1,800,000	19,428,002	△ 17,628,002

(ウ) 補助金事務を適切に行うべきもの

財団は、平成22年度に公益財団法人に移行した際、公益法人会計基準（以下「会計基準」という。）に基づいて、一般会計及び5つの特別会計による6会計に区分していた会計区分を、公益目的事業か収益事業かにより、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の3会計に改めた。

また、同時に、財団は、平成21年度まで作成していた収支計算書について、会計基準において作成が義務付けられていないとして作成を取り止めた。

このため、財団が、平成22年度の運営費補助金を申請するに当たっては、表6のとおり、会計基準において作成が義務付けられる正味財産増減計算書に記載の金額から、他会計との取引分やこれまで収支計算書には計上されていなかった各種引当金や減価償却費等の経費を除いて積算する必要がある。

ところで、財団において、平成22年度の補助金の積算について見たところ、監査日（平成23.9.20）現在、補助金の精算金額に合致する財務諸表及び上記金額調整の経過について確認するために必要な会計資料が管理されていなかったため、補助金額と証拠書類との突合ができない状況にあったことは、適切でない。

また、局は、平成22年度の補助金の精算に当たって、他会計との取引分や減価償却費等の経費の調整状況について財団から報告をさせていないにもかかわらず、財団の精算の報告を妥当なものとして補助金額を確定し、補助金を精算していることは、適正でない。

財団は、補助金額と証拠書類との突合ができるよう会計資料の管理を適切に行われたい。

局は、補助金の精算事務を適正に行われたい。

（公益財団法人東京都歴史文化財団）

（生活文化局）

(表6) 補助事業の支出金額内訳について (庭園美術館及びトーキョーワンダーサイトの事例)

庭園美術館

(単位:円)

平成21年度費目	金額(a)	平成22年度費目	金額(b)	差額(b-a)
庭園公開事業	32,266,606	庭園公開事業	33,835,862	1,569,256
広報事業	3,804,039	広報事業	4,170,733	366,694
管理運営経費	114,089,929	管理運営経費	110,935,178	3,154,751
人件費	81,850,330	人件費	88,785,190	6,934,860
固定資産取得支出	4,500,000	固定資産取得支出	3,000,000	1,500,000
小計	236,510,904	小計	240,726,963	4,216,059
		館長経費	743,320	743,320
		減価償却費(庭園公開)	1,112,147	1,112,147
		減価償却費(広報)	137,088	137,088
		商品・貯蔵品(広報)	56,444	56,444
		商品・貯蔵品(管理)	124,311	124,311
		人件費	6,452,439	6,452,439
		租税公課	1,541,755	1,541,755
		小計	8,680,864	8,680,864
収支補助計	236,510,904	収支補助計	232,046,099	4,464,805
展覧会経費	39,409,087	展覧会経費	4,434,024	34,975,063
展覧会経費	37,980,237	展覧会経費	39,386,570	1,406,333
展覧会経費	35,447,928	展覧会経費	31,776,434	3,671,494
展覧会経費	37,447,886	展覧会経費	37,506,209	58,323
展覧会経費	5,218,556	展覧会経費	16,064,338	10,845,782
(差額)	19,428,002	展覧会経費	29,930,142	10,502,140
小計	174,931,696	小計	159,097,717	15,833,979
		出版物販売	855,130	855,130
		減価償却費	5,213,872	5,213,872
		消耗品費	779,662	779,662
		印刷製本費	166,374	166,374
		広告宣伝費	372,330	372,330
		商品費	731,860	731,860
		他会計振替支出	7,204,815	7,204,815
		固定資産取得の実執行額 の差	25,000	25,000
		小計	1,848,255	1,848,255
定額補助計	174,931,696	定額補助計	160,945,972	13,985,724
合計	411,442,600	合計	392,992,071	18,450,529

トーキョーワンダーサイト

平成21年度費目	金額(a)	平成22年度費目	金額(b)	差額(b-a)
事業費	376,242,514	事業費	394,028,554	17,786,040
固定資産取得	3,646,650	固定資産取得	4,189,719	543,069
小計	379,889,164	小計	398,218,273	18,329,109
		他会計振替額	13,115,778	13,115,778
		給与(賞与引当金期首残高等)	2,464,802	2,464,802
		賞与引当金繰入額	3,853,795	3,853,795
		通信運搬費(貯蔵品調整)	3,567,901	3,567,901
		減価償却費	4,517,664	4,517,664
		小計	3,641,220	3,641,220
合計	379,889,164	合計	401,859,493	21,970,329

ウ 物品の管理を適正に行うべきもの

局は、財団との間で指定管理業務の委託契約を締結するに当たり、財団と基本協定を交わし、財団が指定管理料を用いて購入した物品は、局に帰属するものと定めている。

このため、財団は、指定管理期間中、年度ごとに、物品の購入実績を局に報告するよう義務付けられている。

ところで、財団において、物品の購入状況を見たところ、財団は、表7のとおり、平成21年度において、購入金額100万円を超える重要物品を含む物品を購入している。

しかしながら、財団による局への報告実績について確認したところ、監査日現在（平成23.9.21）、財団は、当該物品を購入したことを局に報告しておらず適正でない。

また、局が、結果として、表7に掲げる物品を、都の物品管理システムに登録していないことも、適正でない。

財団は、局に対して物品の購入に係る報告を適正に行われたい。

局は、物品管理システムに速やかに当該物品に登録するとともに、財団に対して適正に物品の管理を行うよう指導されたい。

（公益財団法人東京都歴史文化財団）

（生活文化局）

（表7）物品管理システムに登録すべき物品（平成21年度）

施設名	物 品 名	購入金額（税込み）
東京都美術館	東京都美術館建築模型	2,625,000円
写真美術館	印画紙乾燥機	375,165円

第5 運営状況の概要

1 財政面から見た都との関係

(1) 公益財団法人への移行に伴う財務諸表の様式変更について

公益法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年6月2日法律第49号）により、毎事業年度における公益目的事業比率が50%以上となるように公益目的事業を行わなければならないこと、また、同法施行規則（平成19年9月7日内閣府令第68号）により、公益法人は、収益事業から生じた収益の50%以上を公益目的事業に充当しなければならないこと、さらに、公益法人の収益事業等に関する会計は、公益目的事業に関する会計から区分し、各収益事業等ごとに特別の会計として経理しなければならないことが定められている。

このため、財団は、平成22年4月から公益財団法人に移行したことに伴い、表8及び表9のとおり、財団の財務諸表について、平成21年度は一般会計ほか5会計により作成したのに対して、平成22年度は公益目的事業会計ほか2会計により作成した。

(2) 都からの収益及び経理状況について

すべての会計における都からの収益額は、表8及び表9のとおり、平成21年度が64億6,692万余円、平成22年度が64億561万余円であり、財団の収益全体に占める都からの収益の割合は、平成21年度が66.2%、平成22年度が70.9%となっている。都からの収入の割合が増えている理由は、平成22年度の東京都美術館の改修工事に伴う休館により、展覧会の入場料など事業収入が減少したことなどによるものである。

補助金の交付は、平成21年度が9億5,644万余円、平成22年度が9億5,848万余円であり、平成21年度は一般会計ほか1会計により、平成22年度は公益目的事業会計ほか2会計により経理している。

負担金の交付は、平成21年度が15億8,547万余円、平成22年度が15億8,121万余円であり、平成21年度が一般会計ほか1会計により、平成22年度が公益目的事業会計により経理されている。

助成金の交付は、平成21年度、平成22年度ともに1,000万円であり、平成21年度は一般会計により、平成22年度は公益目的事業会計により経理されている。

委託料の交付は、指定管理業務について指定管理団体全体が交付を受けたもののうち財団分として、平成21年度が39億1,500万余円、平成22年度が38億5,591万余円であり、平成21年度が受託事業特別会計により、平成22年度が公益目的事業会計ほか1会計により経理されている。

(表8) 財団の各会計収益に係る正味財産の内訳 (平成21年度)

(単位: 千円、%)

項目	合計	一般会計	受託事業 特別会計	写真・ 映像文化 振興事業 特別会計	ワンダー サイト 事業 特別会計	文化発信 プロジェ クト特別 会計	付帯事業 特別会計
収益額計	9,772,440	2,549,065	5,752,731	221,439	379,889	1,416,069	489,146
都からの収益 (割合%)	6,466,927 (66.2)	799,178 (31.4)	3,915,001 (68.1)	0 (0.0)	350,128 (92.2)	1,402,620 (99.1)	0 (0.0)
受取補助金	956,448	606,320	0	0	350,128	0	0
受取助成金	10,000	10,000	0	0	0	0	0
受取負担金	1,585,478	182,858	0	0	0	1,402,620	0
受託収益	3,915,001	0	3,915,001	0	0	0	0
他の収益計 (割合%)	3,305,513 (33.8)	1,749,887 (68.6)	1,837,730 (31.9)	221,439 (100.0)	29,762 (7.8)	13,449 (0.9)	489,146 (100.0)
費用額計	9,132,842	2,154,484	5,512,769	212,754	378,588	1,417,196	492,951
税引前増減額	639,598	394,581	239,961	8,685	1,301	△ 1,127	△ 3,805

(注) 合計金額の数字は、各会計間の内部取引金額 (1,035,899千円) 消去後の金額である。
千円未満を四捨五入しているため、項目の積算と計等が一致しない場合がある。

(表9) 財団の各会計収益に係る正味財産の内訳 (平成22年度)

(単位: 千円、%)

項目	合計	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人 会計
		博物館 美術館	音楽 舞台芸術	基盤整備 発信提供	小計	利用者 利便性向上	小計	
収益額計	9,038,056	4,393,174	2,178,422	1,928,658	8,500,253	514,267	514,267	24,896
都からの収益 (割合%)	6,405,615 (70.9)	3,437,122 (78.2)	1,006,535 (46.2)	1,899,310 (98.5)	6,342,967 (74.6)	37,751 (7.3)	37,751 (7.3)	24,896 (100.0)
受取補助金	958,487	364,025	35,764	527,211	927,000	6,591	6,591	24,896
受取助成金	10,000	5,000	5,000	0	10,000	0	0	0
受取負担金	1,581,216	135,081	74,037	1,372,098	1,581,216	0	0	0
受託収益	3,855,912	2,933,017	891,735	0	3,824,751	31,161	31,161	0
他の収益計 (割合%)	2,632,441 (29.1)	956,052 (21.8)	1,171,886 (53.8)	29,348 (1.5)	2,157,286 (25.4)	476,515 (92.7)	476,515 (92.7)	0 (0.0)
費用額計	8,523,157	4,144,993	2,184,963	1,963,209	8,293,165	206,456	206,456	24,896
税引前増減額	514,899	248,181	△6,541	△34,551	207,088	307,810	307,810	0

(注) 合計金額の数字は、各会計間の内部取引金額 (1,360千円) 消去後の金額である。
千円未満を四捨五入しているため、項目の積算と計等が一致しない場合がある。

2 事業実績について

施設別入場者数等の平成21年度及び平成22年度における実績は、表10のとおりである。

全施設の入場者数合計は、平成21年度が479万8,185人であるのに対して、平成22年度が275万5,399人であり、204万2,786人減少している。これは主に、東京都美術館の改修工事に伴う全面休館（休館期間：平成22年4月5日から平成24年3月31日まで）により、入場者が219万9,065人減少したことなどによるものである。

平成21年度及び平成22年度における財団の施設別の主な内容と実績は、表11のとおりである。

(表10) 施設別入場者数又はホール等稼働率

(単位：人、%)

施設等		年度		
		平成21年度	平成22年度	対前年増減
東京都庭園美術館		211,855	200,064	△ 11,791
東京都江戸東京博物館		1,155,735	1,233,605	77,870
	江戸東京たてもの園	239,245	213,034	△ 26,211
東京都写真美術館		428,514	427,223	△ 1,291
東京都現代美術館		492,849	608,419	115,570
東京都美術館（注）		2,241,038	41,973	△ 2,199,065
トーキョーワンダーサイト		28,949	31,081	2,132
入場者数合計		4,798,185	2,755,399	△ 2,042,786
東京文化会館 （稼働率）	大ホール	88.8	88.9	0.1
	小ホール	84.1	84.5	0.4
	応接室	41.1	51.4	10.3
	リハーサル室（8室）	93.8	93.9	0.1
	会議室（5室）	52.4	54.8	2.4
東京芸術劇場 （稼働率）	大ホール	54.9	60.2	5.3
	中ホール	94.9	97.3	2.4
	小ホール1	97.7	94.8	△ 2.9
	小ホール2	95.6	95.4	△ 0.2
	展示施設	99.5	98.6	△ 0.9
	リハーサル室（6室）	63.6	56.6	△ 7.0
	会議室（9室）	64.4	64.7	0.3

（注）東京都美術館は、平成22年4月5日から平成24年3月31日まで、改修工事に伴い全面休館している。

(表 1 1) 主な事業実績

美術館・博物館 (単位：人)				
開催施設名	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	事業名	入場者数	事業名	入場者数
東京都 庭園美術館	庭園公開事業	79,694	庭園公開事業	72,131
	(企画展) 日本磁器ヨーロッパ輸出 350 周年記念 パリに咲いた古伊万里の華	65,489	(企画展) きらめく装いの美 香水瓶の世界	60,831
	(企画展) 国立エルミタージュ美術館所蔵 エカテリーナ 2 世の四大ディナーセット～ヨーロッパ磁器に見る宮廷晩餐会～	52,027	(企画展) 没後 25 年有元利夫展－天空の音楽	44,713
東京都	常設展示	787,358	常設展示	786,996
江戸東京 博物館	野外収蔵 (江戸東京たてもの園)	239,245	野外収蔵 (江戸東京たてもの園)	213,034
	(特別展) 生誕 8 0 周年記念特別展 手塚治虫展 未来へのメッセージ	128,276	(特別展) 2010 年 NHK 大河ドラマ特別展 龍馬伝	141,131
東京都 写真美術館	(収蔵展) 木村伊兵衛とアンリ・カルティエ＝ブレッソン～東洋と西洋のまなざし～	53,753	(収蔵展) 私を見て！ヌードのポートレイト	27,794
	(収蔵展) 「旅」第 3 部「異邦へ 日本の写真家たちが見つめた異国世界」	18,946	(収蔵展) オノデラユキ 写真の迷宮へ	26,768
	(映像展) 映像をめぐる冒険 vol.2 躍動するイメージ 石田尚志とアブストラクト・アニメーションの源流	10,855	(映像展) 映像をめぐる冒険 vol.3 3D ヴィジョンズ新たな表現を求めて	15,580
東京都 現代美術館	(常設展) MOT コレクション	130,254	(常設展) MOT コレクション	116,428
	(企画展) メアリー・ブレア展	197,395	(企画展) 借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	295,698
	(企画展) ラグジュアリー・ファッションの欲望	41,469	(企画展) こどものにわ	83,296
東京都 美術館	公募展	1,410,013	(平成 22 年 4 月 5 日から平成 24 年 3 月 31 日まで、改修工事に伴い全面休館している。)	
	(共催展) トリノ・エジプト展 イタリアが愛した美の遺産	355,176		
	(共催展) 美連協 25 周年記念 日本の美術館名品展	182,199		
音楽・舞台芸術 (単位：回)				
	事業名	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	
東京文化会館	大ホール貸出回数	884	814	
	小ホール貸出回数	837	778	
東京芸術劇場	大ホール貸出回数	542	585	
	中ホール貸出回数	937	943	
事務局・その他 (単位：人)				
	事業名	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	
事務局	フレッシュ名曲コンサート入場者数	27,586	28,796	
	都民芸術フェスティバル等入場者数	71,126	78,111	
トーキョー ワンダーサイト	本郷入場者数	13,089	14,376	
	渋谷入場者数	12,855	14,789	
	青山入場者数	3,005	1,916	
東京文化発信 プロジェクト	フェスティバル／トーキョー参加者数	64,039	64,931	
	東京大茶会参加者数	約 18,400	約 17,000	
	東京都交響楽団ハーモニーツアー参加者数	8,301	4,660	

3 運営費補助金等について

運営費補助金の補助対象及び算定方法、収支状況、施設別の主な事業経費は、それぞれ表12、表13、表14のとおりである。

負担金の支出対象事業及び支出金額は、表15のとおりである。

助成金の支出対象事業及び支出金額は、表16のとおりである。

(表12) 運営費補助金の補助対象及び算定方法

(単位：千円)

補助対象	年度	補助金の算定方法	補助金の交付額
事務局			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化の活性化のための文化活動の支援助成 ・都民の文化的活力の導入による文化事業の企画及び実施 ・芸術及び伝統文化の振興 ・文化振興に関する普及啓発 ・その他目的達成に必要な事業 	平成21年度	(事業支出+投資活動支出) －(事業収入+基本財産運用収入+特定資産取崩収入+雑収入)	343,904
	平成22年度	(事業費+管理費+固定資産取得等) －(固定資産及び各種引当金に係る費用+他会計振替額+事業収益+特定資産取崩額+雑収益)	334,406
東京都庭園美術館			
<ul style="list-style-type: none"> ・庭園の公開 ・その他目的達成に必要な事業 	平成21年度	(事業支出+投資活動支出) －(事業収入+雑収入)	221,074
	平成22年度	(事業費+固定資産取得等) －(固定資産及び各種引当金に係る費用+事業収益+基本財産運用益+雑収入+他会計振替額+特定資産取崩額)	217,324
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の建物公開に係る展示 ・特別の企画に基づく美術作品等の展示 	平成21年度	定額補助	41,343
	平成22年度		41,343
小計	平成21年度		262,417
	平成22年度		258,667
トーキョーワンダーサイト			
<ul style="list-style-type: none"> ・若手芸術家の支援・育成を目的とする事業の企画及び実施 ・若手芸術家の交流事業の企画及び実施 ・国内外新進若手アーティストが滞在・交流するための拠点の運営 ・二国間交流を中心とした新進気鋭アーティストの相互交流事業 ・国内外の異なる芸術分野の若手アーティストを招聘し、作品の共同制作・交流の場を提供する事業の企画及び実施 	平成21年度	(事業支出+投資活動支出) －(事業収入+雑収入+固定資産所得支出等)	350,128
	平成22年度	(事業費+固定資産取得) －(固定資産及び各種引当金に係る費用+事業収益+雑収益+他会計振替額+特定資産取崩額)	365,414
合計	平成21年度		956,448
	平成22年度		958,487

(表13) 運営費補助金の収支状況

(単位：円)

	平成21年度			平成22年度		
	収支状況		運営費補助金 (b)-(a)	収支状況		運営費補助金 (b)-(a)
	収入額 (a)	支出額 (b)		収入額 (a)	支出額 (b)	
事務局	7,026,213	350,930,134	343,903,921	1,042,009	335,447,791	334,405,782
庭園美術館(注1)	149,026,077	411,442,600	262,416,523	134,324,579	392,992,071	258,667,492
トーキョー ワンダーサイト	29,761,580	379,889,164	350,127,584	36,445,424 (注2)	401,859,493 (注2)	365,414,069
合計	185,813,870	1,142,261,898	956,448,028	171,812,012	1,130,299,355	958,487,343

(注1) 定額補助分の実際の収支は反映されていない。

(注2) 会計間振替分(13,115,778円)を含んでいる。

(表14) 運営費補助金に係る施設別の主な事業経費

(単位：円、%)

施設名	事業名	平成21年度	平成22年度	対前年増減	
				金額	率
事務局	フレッシュ名曲コンサート	68,499,942	72,097,208	3,597,266	5.3
	「トーキョーアートナビゲーション」の運営	60,456,627	49,740,209	△10,716,418	△17.7
東京都 庭園美術 館	庭園公開事業	33,206,011	33,835,862	629,851	1.9
	広報事業	3,847,150	4,170,733	323,583	8.4
	展覧会事業	159,228,639	159,097,717	△130,922	△0.1
トーキョー ワンダー サイト	トーキョーワンダーサイト本郷	8,798,215	9,243,189	444,974	5.1
	トーキョーワンダーサイト渋谷	24,934,833	22,558,481	△2,376,352	△9.5
	トーキョーワンダーサイト青山	42,805,611	34,392,095	△8,413,516	△19.7

(表15) 負担金の支出対象事業及び支出金額

対象事業	事業の概要	支出年度	支出金額
東京文化発信 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、都と財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクト。 都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整える。 国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信する。 	平成21年度	1,402,852,139円
		平成22年度	1,402,337,053円
都民芸術フェ スティバル	<ul style="list-style-type: none"> 都内芸術文化団体等の優れた公演に対して助成金を交付することで、公演内容の充実を図る。 入場料金を低廉に維持し、あるいは入場無料とすることで、多くの都民の皆様にさまざまな舞台芸術をご鑑賞いただき、芸術のより一層の普及と振興を図る。 	平成21年度	182,858,011円
		平成22年度	181,499,763円

(表16) 助成金の支出対象事業及び支出金額

年度	対象事業	実施施設	支出金額	事業実績
平成21年度	芸術監督セレクション「天翔ける風に」(ミュージカル)	東京芸術劇場	10,000,000円	平成21年8月21日から同月30日まで14回公演
平成22年度	日本の新進作家展 vol.9 ニューズナップショット輝きの瞬間展(写真展)	東京都写真美術館	5,000,000円	平成22年12月11日から平成23年2月6日まで45日間
	タクト・フェスティバル(パフォーマンス)	東京芸術劇場	5,000,000円	平成22年8月6日から同月15日まで10日間

(注) 本助成金は、財団法人地域創造による助成金を原資として都が支出するものであり、助成対象事業の審査と決定は、同団体が行っている。

4 公の施設の管理運営について

都は、文化施設の設置目的及び基本的使命に沿った質の高い事業及びサービスを提供するとともに、各施設を効果的かつ効率的に管理運営し、広く都民の利用に供することを目的として、施設の管理運営業務を指定管理者に委託している（委託期間：平成21年4月1日から平成29年3月31日までの8年間）。

都は、委託に当たって、東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館、東京都現代美術館の3館を一体管理すべきものとして、一括委託した。

また、上記3館及び東京文化会館の指定管理者については、公募により選定した一方で、東京都美術館及び東京芸術劇場は、指定管理期間に大規模工事が行われることから、工事に際して指定管理者との綿密な連携の必要があり、館運営の実績と蓄積されたノウハウを持つとして、前回に引き続いて、財団を特命により選定した。

なお、公募により選定を行った4施設については、財団を含むコンソーシアムが受託し、役割分担により業務を行っている。

平成21年度及び平成22年度における施設別の主な事業経費は表17のとおりである。

平成21年度及び平成22年度における指定管理業務に係る収支状況は表18のとおりである。

(表17) 施設別の主な指定管理業務経費

(単位：千円、%)

施設名	事業内容	平成 21年度	平成 22年度	対前年増減	
				金額	率
江戸東京博物館 (注)	本館の管理運営	818,123	846,856	28,733	3.5
	江戸東京たてももの園の管理運営	119,608	122,793	3,185	2.7
	A Vシステムの管理運営	119,229	119,586	357	0.3
写真美術館(注)	美術館の管理運営	272,290	278,142	5,852	2.1
	展覧会事業	87,754	86,643	△ 1,111	△ 1.3
	情報システム等の運営	13,491	15,147	1,656	12.3
現代美術館(注)	美術館の管理運営	434,760	447,875	13,115	3.0
	収蔵品の購入	79,344	59,722	△ 19,622	△ 24.7
	美術情報センターの運営	23,225	22,322	△ 903	△ 3.9
東京都美術館	美術館の管理運営	382,462	43,398	△ 339,064	△ 88.7
東京文化会館 (注)	東京文化会館の管理運営	574,222	538,430	△ 35,792	△ 6.2
	音楽資料室の管理運営	11,799	11,877	78	0.7
東京芸術劇場	東京芸術劇場の管理運営	994,415	935,158	△ 59,257	△ 6.0

(注) コンソーシアム全体の経費を記載している。

(表 18) 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

平成 21 年度					
収支科目	東京都江戸東京 博物館外 2 施設 (注)	東京都 美術館	東京文化 会館 (注)	東京芸術 劇場	合計
利用料金収入	442,626	274,648	480,813	565,035	1,763,121
自主事業収入	715,568	50,333	158,788	522,055	1,446,744
附帯事業収入	254,363	66,377	69,250	89,832	479,822
指定管理料等収入 (うち指定管理料収入)	3,450,785 (3,450,785)	314,532 (301,936)	343,749 (343,749)	765,075 (765,075)	4,874,141 (4,861,545)
収入合計(a)	4,863,342	705,890	1,052,600	1,941,997	8,563,828
自主事業原価	763,141	94,938	159,399	522,129	1,539,608
附帯事業原価	242,314	59,893	64,484	107,007	473,697
原価合計(b)	1,005,455	154,831	223,883	629,136	2,013,305
売上総利益(粗利益) (a)-(b)=(c)	3,857,887	551,058	828,717	1,312,861	6,550,523
一般販管費(d)	3,633,165	557,632	754,741	1,260,015	6,205,553
運営利益(c)-(d)=(e)	224,722	△ 6,574	73,975	52,846	344,970
資産経費(f)	169,783	20,559	28,231	48,888	267,462
営業利益(e)-(f)=(g)	54,939	△ 27,133	45,745	3,958	77,509
営業外収入	58,006	41,925	6,428	51,516	157,876
営業外支出	55,401	2,544	5,396	8,337	71,679
営業外収支(h)	2,606	39,380	1,032	43,179	86,197
経常利益(g)+(h)	57,545	12,247	46,776	47,137	163,706
平成 22 年度					
収支科目	東京都江戸東京 博物館外 2 施設 (注)	東京都 美術館	東京文化 会館 (注)	東京芸術 劇場	合計
利用料金収入	431,267	2,671	446,737	523,266	1,403,940
自主事業収入	585,374	1,429	111,085	326,619	1,024,507
附帯事業収入	211,830	1,082	49,193	83,350	345,454
指定管理料等収入 (うち指定管理料収入)	3,288,323 (3,288,323)	247,227 (247,227)	315,640 (315,640)	769,133 (769,133)	4,620,323 (4,620,323)
収入合計(a)	4,516,794	252,410	922,654	1,702,368	7,394,225
自主事業原価	599,028	7,245	161,774	399,288	1,167,335
附帯事業原価	79,417	2,510	14,519	13,095	109,541
原価合計(b)	678,444	9,755	176,293	412,384	1,276,875
売上総利益(粗利益) (a)-(b)=(c)	3,838,349	242,655	746,362	1,289,984	6,117,350
一般販管費(d)	3,339,200	203,539	701,479	1,175,780	5,419,997
運営利益(c)-(d)=(e)	499,150	39,116	44,883	114,204	697,353
資産経費(f)	201,140	6,339	31,272	28,545	267,296
営業利益(e)-(f)=(g)	298,009	32,778	13,610	85,659	430,057
営業外収入	74,894	3,498	30,287	65,792	174,470
営業外支出	65,984	2,021	21,196	55,857	145,057
営業外収支(h)	8,910	1,477	9,091	9,935	29,413
経常利益(g)+(h)	306,919	34,254	22,702	95,595	459,470

(注) コンソーシアム全体の経費を記載している。

千円未満を四捨五入しているため、項目の積算と計等が一致しない場合がある。

(別表1-1) 平成21年度正味財産増減計算書総括表

(単位: 円)

科目	一般会計	受託事業 特別会計	写真・映像文化 振興事業 特別会計	ワンダーサイト 事業特別会計	文化発信プロ ジェクト事業 特別会計	付帯事業 特別会計	内部取引消去	合計
当期経常増減額	396,368,111	239,472,330	20,581,000	1,420,077	△ 1,126,690	△ 3,957,853		652,756,975
経常収益	2,549,065,491	5,752,241,407	221,439,009	379,889,164	1,416,068,820	488,759,167	△ 1,035,899,436	9,771,563,622
経常費用	2,152,697,380	5,512,769,077	200,858,009	378,469,087	1,417,195,510	492,717,020	△ 1,035,899,436	9,118,806,647
当期経常外増減額	△ 1,786,899	489,097	△ 11,895,689	△ 118,654	0	152,778		△ 13,159,367
経常外収益	0	489,097	0	0	0	387,158		876,255
経常外費用	1,786,899	0	11,895,689	118,654	0	234,380		14,035,622
税引前当期一般正味財産増減額	394,581,212	239,961,427	8,685,311	1,301,423	△ 1,126,690	△ 3,805,075		639,597,608
法人税等	85,004,123	63,954,750	2,786,642	0	0	△ 2,992,415		148,753,100
当期一般正味財産増減額	309,577,089	176,006,677	5,898,669	1,301,423	△ 1,126,690	△ 812,660		490,844,508
一般正味財産期首残高	4,489,025,663	△ 107,541,873	63,377,768	121,972,437	179,912	429,014,111		4,996,028,018
一般正味財産期末残高	4,798,602,752	68,464,804	69,276,437	123,273,860	△ 946,778	428,201,451	0	5,486,872,526
当期指定正味財産増減額	0							0
指定正味財産期首残高	200,000,000							200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000							200,000,000
正味財産期末残高	4,998,602,752	68,464,804	69,276,437	123,273,860	△ 946,778	428,201,451		5,686,872,526

(別表1-2) 平成22年度正味財産増減計算書内訳表

(単位: 円)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	博物館 美術館	音楽 舞台芸術	基盤整備 発信提供	共通	小計	利用者利便性向 上	小計			
当期経常増減額	258,867,900	△ 6,541,367	△ 34,550,760		217,775,773	319,629,230	319,629,230	0	0	537,405,003
経常収益	4,391,623,921	2,178,421,635	1,928,657,839		8,498,703,395	514,266,553	514,266,553	24,896,422	△ 1,360,427	9,036,505,943
経常費用	4,132,756,021	2,184,963,002	1,963,208,599		8,280,927,622	194,637,323	194,637,323	24,896,422	△ 1,360,427	8,499,100,940
当期経常外増減額	△ 10,687,390	0	0		△ 10,687,390	△ 11,818,971	△ 11,818,971	0	0	△ 22,506,361
経常外収益	1,550,000	0	0		1,550,000	0	0	0	0	1,550,000
経常外費用	12,237,390	0	0		12,237,390	11,818,971	11,818,971	0	0	24,056,361
他会計振替額	38,834,464	93,153,085	21,631,713		153,619,262	△ 153,619,262	△ 153,619,262			0
税引前当期一般正味財産増減額	287,014,974	86,611,718	△ 12,919,047		360,707,645	154,190,997	154,190,997	0	0	514,898,642
法人税、住民税、事業税						72,387,800	72,387,800			72,387,800
過年度法人税、住民税、事業税	587,317	77,551	959,632		1,624,500					1,624,500
当期一般正味財産増減額	286,427,657	86,534,167	△ 13,878,679		359,083,145	81,803,197	81,803,197	0	0	440,886,342
一般正味財産期首残高				3,788,674,792	3,788,674,792	1,698,197,734	1,698,197,734	0	0	5,486,872,526
一般正味財産期末残高				4,147,757,937	4,147,757,937	1,780,000,931	1,780,000,931	0	0	5,927,758,868
当期指定正味財産増減額	0	12,454,000	0		12,454,000	0	0	0	0	12,454,000
指定正味財産期首残高				200,000,000	200,000,000	0	0	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高				212,454,000	212,454,000	0	0	0	0	212,454,000
正味財産期末残高				4,360,211,937	4,360,211,937	1,780,000,931	1,780,000,931	0	0	6,140,212,868

(別表2-1) 平成21年度貸借対照表総括表

(単位:円)

科目	一般会計	受託事業特別会計	写真・映像文化 振興事業特別会計	ワンダーサイト 事業特別会計	文化発信プロジェクト 事業特別会計	付帯事業特別会計	内部取引消去	合計
(資産の部)								
流動資産	2,550,389,574	1,267,754,920	105,202,189	152,055,664	245,909,110	231,725,460	△ 39,446,577	4,513,590,340
固定資産	3,178,317,401	155,823,666	2,411,363	97,409,813	3,767,141	270,613,446	0	3,708,342,830
資産合計	5,728,706,975	1,423,578,586	107,613,552	249,465,477	249,676,251	502,338,906	△ 39,446,577	8,221,933,170
(負債の部)								
流動負債	662,214,223	915,073,170	38,337,115	124,191,617	250,623,029	22,408,355	△ 39,446,577	1,973,400,932
固定負債	67,890,000	440,040,612	0	2,000,000	0	51,729,100	0	561,659,712
負債合計	730,104,223	1,355,113,782	38,337,115	126,191,617	250,623,029	74,137,455	△ 39,446,577	2,535,060,644
(正味財産の部)								
正味財産	4,998,602,752	68,464,804	69,276,437	123,273,860	△ 946,778	428,201,451	0	5,686,872,526
負債及び正味財産	5,728,706,975	1,423,578,586	107,613,552	249,465,477	249,676,251	502,338,906	△ 39,446,577	8,221,933,170

(別表2-2) 平成22年度貸借対照表内訳表

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
(資産の部)					
流動資産	4,218,463,520	463,030,480	3,890,098	△ 85,259,084	4,600,125,014
固定資産	2,300,909,943	1,442,678,874	0	0	3,743,588,817
資産合計	6,519,373,463	1,905,709,354	3,890,098	△ 85,259,084	8,343,713,831
(負債の部)					
流動負債	1,629,370,375	83,968,423	3,890,098	△ 85,259,084	1,631,969,812
固定負債	529,791,151	41,740,000	0	0	571,531,151
負債合計	2,159,161,526	125,708,423	3,890,098	△ 85,259,084	2,203,500,963
(正味財産の部)					
正味財産	4,360,211,937	1,780,000,931	0	0	6,140,212,868
負債及び正味財産	6,519,373,463	1,905,709,354	3,890,098	△ 85,259,084	8,343,713,831